

平成25年度第1回五霞町議会定例会の開催に当たり、染谷町長から今年度の町政運営に関する所信の一端を述べました。その内容を紹介します。

一昨年3月11日に発生した東日本大震災から、間もなく2年が経過しようとしております。被災地では、未だ、応急仮設住宅での生活が続いているなど、震災前の生活を取り戻すまでには至っておりません。

本町といたしましても、災害に強いまちづくりの推進に向け、自分たちのまちは自分たちで守るという自助への取組みと、互いに助け合う連携の視点からの被災地への支援、周辺自治体及び関係団体との災害協定の締結等について、今後も進めていきたいと考えております。

また、地域社会の繋がりは、防災面だけの自助、共助、公助の観点だけではなく、福祉や子育て支援、青少年の健全育成、防犯など様々な分野にも影響を

平成25年度施政方針 (要旨)

及ぼすものと捉えております。

今日、生活形態の変化や価値観が多様化するなか、人々の評価基準もそれぞれ異なり、複雑な世の中になっております。情報通信技術の発達により、誰もが欲しい情報を簡単に入手でき、発信できるようになりましたが、その反面、人と人が直接向き合う機会が減少しており、あらためて、地域コミュニティの醸成とともに、社会の絆、地域の絆の大切さを認識し、地域の力を高めていくことが重要であるとと考えております。

さて、我が国の経済は、東日本大震災からの復興需要や政策効果の発現等により、経済面の一部で、回復に向けた動きが見られるものの、財政健全化や医療、介護、年金といった社会保障制度の再編など、極めて重要な課題の先行きが見えないことや、若年層雇用の縮小などにより、社会全体に慢性的な閉塞感が広がっております。景気回復や雇用状況の改善は、基礎自治体レベルで対応することは困難ですが、関係機関と連携し、実施可能な対策を推進して行きたいと考えております。

本町の財政状況は、町税等の一般財源の減少傾向が見込まれるなか、社会保障関係経費の増大、公共施設の老朽化・耐震化等に伴う大規模修繕、さらに、

圏央道IC周辺開発など、町の発展に寄与する将来的な財政需要を考慮すると、今後も、更に厳しい財政運営が続くと予想されます。

しかしながら、こうした状況の下であります。平成25年度の予算編成は、第5次五霞町総合計画の将来像「人がきらめきだれもが安心・安全に暮らせるまち 五霞」の着実な実現に向け、将来に向けた重点プロジェクトを力強く実行するとともに、町民の皆様の思いに添えるため、町民の安心・安全の確保に向けた施策を重点的に進め、将来にわたって活力あふれるまちづくりに引き続き取り組んでいくことといたしました。

このような方針のもとに編成いたしました新年度予算は、限られた財源を最大限有効に活用し、時代に即した財政需要に的確に対応するため、第5次五霞町総合計画に沿って、次の6つの事項を基本としております。

豊かな自然と安全を育む

第1項目 環境・防災・防犯

- 。災害時の連絡体制の強化
- 。防災体制の充実
- 。地球温暖化防止やエネルギー自給率向上の取組
- 。児童生徒の安全確保

健やかと安らぎを育む

第2項目 健康・子育て・福祉

- 。特定健康診査の受診率の向上

- 。健康教育の充実
- 。がん検診の受診率の向上
- 。予防接種の接種率の向上
- 。子育て支援の充実
- 。障害福祉サービスの充実

人と文化を育む

第3項目 教育・文化

- 。教育活動指導員の配置
- 。英語指導員派遣
- 。指導主事の設置
- 。中央公民館のバリアフリー化
- 。B&G海洋センターの改修工事

ゆとりといるおいを育む

第4項目 都市基盤・生活基盤

- 。圏央道IC周辺地域整備事業
- ※重点プロジェクト
- 。地域公共交通システム構築事業としてバスの実証運行
- ※重点プロジェクト
- 。水道施設の一元化
- 。環境浄化センターの耐震工事実施設計
- 。農業集落排水台帳の整備

豊かさで活力を育む

第5項目 産業

- 。「道の駅ごか」ファーストフードコーナーの整備
- 。担い手育成支援事業
- 。生産調整に関する業務の円滑な推進

ともにまちを育む

第6項目 まち地域づくり・行財政運営

- 。協働のまちづくりを積極的推進

- 。町のイメージキャラクター「ごかりん」による町外へのイメージアップ活動
- 。ふれあいセンター大規模改修工事
- 。地域コミュニティ活動の充実
- 。第2次行政改革運営プラン実施計画（後期分）の策定

以上、平成25年度当初予算案など、議案の概要と町政に対する所信の一端を申し上げます。これら諸施策の執行にあたりましては、一層の自覚と研鑽を積むとともに、私自身が先頭に立ち、町民の皆様と一緒に進めてまいります。

東日本大震災から約2年の月日が流れました。人々の記憶が徐々に薄れ、風化してきているような報道もなされつつありますが。しかし、私は、あの時国民誰もが感じた「思い」を決して忘れず、あの時を原点として、「わがふるさと五霞」の輝かしい未来に向けて、全力を傾注していく所存であります。

今後、まちづくりのキーワード「絆」を旗印に、町の将来像「人がきらめきだれもが安心・安全に暮らせるまち 五霞」の実現に向け、精一杯頑張ってください。まいりますので、皆様の、より一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。平成25年度に臨む施政方針とさせていただきます。

(全文については、町ホームページに掲載しています。)